

## 第 151 回日商簿記検定試験 模範解答

## 2 級

## 商 業 簿 記

## 第 1 問 (20 点)

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	現 金	8,500,000	車両減価償却累計額	760,000
	商 品	6,100,000	本 店	17,640,000
	車 両	3,800,000		
2	そ の 他 有 価 証 券	2,000,000	繰 延 税 金 負 債	600,000
			その他有価証券評価差額金	1,400,000
3	売 上	19,000	当 座 預 金	19,000
4	追 徴 法 人 税 等	360,000	未 払 法 人 税 等	360,000
5	備品減価償却累計額	354,240	備 品	600,000
	減 価 償 却 費	36,864		
	営 業 外 受 取 手 形	119,000		
	固 定 資 産 売 却 損	89,896		

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

(別解)

5	( 減 価 償 却 費 )	36,864	( 備品減価償却累計額 )	36,864
	( 備品減価償却累計額 )	391,104	( 備 品 )	600,000
	( 営 業 外 受 取 手 形 )	119,000		
	( 固 定 資 産 売 却 損 )	89,896		

## 第2問 (20 点)

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書  
自平成 29 年 4 月 1 日 至平成 30 年 3 月 31 日 (単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計
当 期 首 残 高	20,000	( 1,600 )	( 500 )	( 2,100 )
当 期 変 動 額				
剰余金の配当		( 25 )	( △ 275 )	( △ 250 )
別途積立金の積立て				
新株の発行	( 250 )	( 250 )		( 250 )
吸収合併	( 3,000 )		( 1,400 )	( 1,400 )
当期純利益				
当期変動額合計	( 3,250 )	( 275 )	( 1,125 )	( 1,400 )
当 期 末 残 高	( 23,250 )	( 1,875 )	( 1,625 )	( 3,500 )

(下段へ続く)

(上段から続く)

	株主資本				
	利 益 剰 余 金				株主資本 合 計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
		別途積立金	繰越利益剰余金		
当 期 首 残 高	400	( 220 )	( 1,200 )	( 1,820 )	( 23,920 )
当 期 変 動 額					
剰余金の配当	( 75 )		( △ 825 )	( △ 750 )	( △ 1,000 )
別途積立金の積立て		( 80 )	( △ 80 )	—	—
新株の発行					( 500 )
吸収合併					( 4,400 )
当期純利益			( 980 )	( 980 )	( 980 )
当期変動額合計	( 75 )	( 80 )	( 75 )	( 230 )	( 4,880 )
当 期 末 残 高	( 475 )	( 300 )	( 1,275 )	( 2,050 )	( 28,800 )

 1 つにつき 2 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

## 第3問 (20 点)

(単位：千円)

	個別財務諸表(X4年3月31日)			修正・消去		連結財務諸表
	P社	S1社	S2社	借方	貸方	
<b>貸借対照表</b>						
現金預金	257,000	35,000	24,000			316,000
売掛金	430,000	260,000	156,000		197,000	649,000
商品	440,000	246,000	16,500		45,000	657,500
未収入金	63,000	43,000	13,000		8,000	111,000
貸付金	140,000				140,000	0
未収収益	12,000				500	11,500
土地建物	220,000		134,000		7,700	346,300
建物減価償却累計額	△ 24,000					△ 24,000
備品	50,000	24,000				74,000
備品減価償却累計額	△ 10,000	△ 4,000				△ 14,000
(のれん)				26,000	5,200	20,800
差入保証金		22,000				22,000
子会社株式	270,000				170,000	0
					100,000	
資産合計	2,028,000	626,000	343,500	26,000	673,400	2,350,100
買掛金	224,000	184,000	14,000	197,000		225,000
借入金	250,000	100,000	40,000	140,000		250,000
未払金	108,000	18,000	34,000	8,000		152,000
未払法人税等	30,000	3,000	6,600			39,600
未払費用	90,000	58,000	4,900	500	500	152,900
前受収益			128,600			128,600
資本金	360,000	120,000	100,000	120,000		360,000
				100,000		
資本剰余金	120,000	30,000		30,000		120,000
利益剰余金	846,000	113,000	15,400	30,000	848,150	869,400
				10,976		
				3,900		
				36,000		
				872,274		
非支配株主持分					36,000	52,600
					10,976	
					5,624	
負債・純資産合計	2,028,000	626,000	343,500	1,548,650	901,250	2,350,100
<b>損益計算書</b>						
売上高	2,156,000	1,069,400		660,000		2,565,400
役務収益			587,000	180,000		407,000
売上原価	1,354,000	713,000		9,000	660,000	1,236,000
					180,000	
役務原価			298,000			298,000
販売費及び一般管理費	644,000	311,000	266,000	2,250	2,700	1,220,550
(のれん)償却				1,300		1,300
受取利息	5,300	300	200	3,200		2,600
賃貸資産受取家賃	2,700			2,700		0
支払利息	5,450	2,700	1,200	500	3,200	6,650
賃貸資産減価償却費	2,250				2,250	0
土地売却益	7,700			7,700		0
法人税、住民税及び事業税	49,800	14,880	6,600			71,280
当期純利益	116,200	28,120	15,400	866,650	848,150	141,220
非支配株主に帰属する当期純利益				5,624		5,624
親会社株主に帰属する当期純利益	116,200	28,120	15,400	872,274	848,150	135,596

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 工 業 簿 記

## 第 4 問 (20 点)

問 1	修繕部費	4,000	円／時間
問 2	第一製造部費	6,000	円／時間
	第二製造部費	2,000	円／時間
問 3	第一製造部費	4,140,000	円
	第二製造部費	3,440,000	円
問 4	修繕部費配賦差異	6,200	円 ( <u>借方差異</u> ・ 貸方差異 ) いずれかを○で囲むこと
問 5	第一製造部費配賦差異	25,000	円 ( <u>借方差異</u> ・ 貸方差異 ) いずれかを○で囲むこと

問 1・問 4・問 5 各 4 点

問 2・問 3 各 2 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

## 第 5 問 (20 点)

## 問 1

等価比率計算表

等級製品	重 量	等価係数	完成品量	積 数	等価比率
X	300 g	3	6,000 枚	18,000 枚	90%
Y	100 g	1	2,000 枚	2,000 枚	10%
					100%

問 2	当 月 の 月 末 仕 掛 品 原 価 =	3,200,000	円
問 3	当 月 の 完 成 品 総 合 原 価 =	19,200,000	円
問 4	等級製品 X の完成品単位原価 =	2,880	円／枚
問 5	等級製品 Y の完成品単位原価 =	960	円／枚

問 1 ☐ 1 つにつき 2 点

問 2～問 5 各 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

## 【2 級解説】

## 第 1 問

1. 支店の開設の仕訳です。移管された資産及び評価勘定をそれぞれ受入記帳し、貸借差額を本店勘定に計上します。  
 なお、問題の指示により、商品の受入れは商品勘定、車両勘定は取得原価、減価償却累計額は車両減価償却累計額勘定で受入記帳する点に注意しましょう。

2. 時価評価差額： $(@ ¥1,200 - @ ¥1,000) \times 10,000 \text{ 株} = ¥2,000,000$   
 繰延税金負債： $¥2,000,000 \times 30\% = ¥600,000$   
 その他有価証券評価差額金： $¥2,000,000 - ¥600,000 = ¥1,400,000$

3. 売上割戻しは、売上勘定から減額します。  
 4. 法人税の追徴税額は、追徴法人税等勘定に計上します。

5. 定率法償却率： $\frac{1}{10 \text{ 年}} \times 200\% = 0.2$

期首減価償却累計額：

$$\text{H27.3} \quad ¥600,000 \times 0.2 = ¥120,000$$

$$\text{H28.3} \quad (¥600,000 - ¥120,000) \times 0.2 = ¥96,000$$

$$\text{H29.3} \quad (¥600,000 - ¥120,000 - ¥96,000) \times 0.2 = ¥76,800$$

$$\text{H30.3} \quad (¥600,000 - ¥120,000 - ¥96,000 - ¥76,800) \times 0.2 = ¥61,440 \quad \text{計} ¥354,240$$

$$\text{当期減価償却費} : (¥600,000 - ¥354,240) \times 0.2 \times \frac{9 \text{ か月}}{12 \text{ か月}} = ¥36,864$$

## 第 2 問（仕訳の単位：千円）

株主資本等変動計算書の作成に必要な仕訳は、以下のとおりです。

## 1. 剰余金の配当

（その他資本剰余金）	275	（未払配当金）	1,000 <sup>*1</sup>
（繰越利益剰余金）	825	（資本準備金）	25 <sup>*2</sup>
		（利益準備金）	75 <sup>*2</sup>

\*1 剰余金の配当額： $(@ ¥5 + @ ¥15) \times 50,000 \text{ 株} = 1,000 \text{ 千円}$

内訳：その他資本剰余金：250 千円、繰越利益剰余金：750 千円

\*2 準備金の要積立額

$$\textcircled{1} \quad 20,000 \text{ 千円} \div 4 - (1,600 \text{ 千円} + 400 \text{ 千円}) = 3,000 \text{ 千円}$$

$$\textcircled{2} \quad 1,000 \text{ 千円} \div 10 = 100 \text{ 千円}$$

$$\textcircled{3} \quad \textcircled{1} > \textcircled{2} \quad \therefore 100 \text{ 千円}$$

各準備金の積立額

$$\text{資本準備金} : 100 \text{ 千円} \times \frac{250 \text{ 千円}}{1,000 \text{ 千円}} = 25 \text{ 千円}$$

$$\text{利益準備金} : 100 \text{ 千円} \times \frac{750 \text{ 千円}}{1,000 \text{ 千円}} = 75 \text{ 千円}$$

## 2. 別途積立金の積立て

（繰越利益剰余金）	80	（別途積立金）	80
-----------	----	---------	----

## 3. 新株の発行

( 当 座 預 金 )	500 <sup>*1</sup>	( 資 本 金 )	250 <sup>*2</sup>
		( 資 本 準 備 金 )	250 <sup>*3</sup>

\*1 払込金額：@ ¥500 × 1,000 株 = 500 千円

\*2 資本金：500 千円 ÷ 2 = 250 千円

\*3 資本準備金：500 千円 ÷ 2 = 250 千円

## 4. 吸収合併

( 諸 資 産 )	9,000	( 諸 負 債 )	5,000
( の れ ん )	400 <sup>*2</sup>	( 資 本 金 )	3,000
		( そ の 他 資 本 剰 余 金 )	1,400 <sup>*1</sup>

\*1 その他資本剰余金：@ ¥550 × 8,000 株 - 3,000 千円 = 1,400 千円

\*2 @ ¥550 × 8,000 株 - (9,000 千円 - 5,000 千円) = 400 千円

## 5. 当期純利益

( 損 益 )	980	( 繰 越 利 益 剰 余 金 )	980
---------	-----	-------------------	-----

## 第 3 問

＜連結修正仕訳＞（仕訳の単位：千円）

## 1. S 1 社に対する開始仕訳

## (1) 支配獲得時(X0 年 3 月 31 日)の仕訳

( 資 本 金 )	120,000	( 子 会 社 株 式 )	170,000
( 資 本 剰 余 金 )	30,000	( 非 支 配 株 主 持 分 )	36,000 <sup>*1</sup>
( 利 益 剰 余 金 )	30,000		
( の れ ん )	26,000 <sup>*2</sup>		

支配獲得時における子会社純資産と親会社の投資勘定を相殺消去します。

\*1 (120,000 千円 + 30,000 千円 + 30,000 千円) × 20% (非支配株主持分比率) = 36,000 千円

\*2 170,000 千円 - (120,000 千円 + 30,000 千円 + 30,000 千円) × 80% (親会社株主持分比率)  
= 26,000 千円

## (2) 連結 1 年度～3 年度(X0 年 4 月 1 日から X3 年 3 月 31 日)の仕訳

## ① のれんの償却

( 利 益 剰 余 金 )	3,900 <sup>*</sup>	( の れ ん )	3,900
— のれん償却 —			

過年度の損益科目を修正するときは、当期に繰り越される利益剰余金勘定の金額を修正します。

\* 26,000 千円 ×  $\frac{3\text{年}}{20\text{年}}$  = 3,900 千円

## ② 子会社利益の配分

( 利 益 剰 余 金 )	10,976 <sup>*</sup>	( 非 支 配 株 主 持 分 )	10,976
— 非支配株主に帰属する当期純利益 —			

連結 1 年度～3 年度に子会社で利益が計上された分だけ利益剰余金が増加していますが、そのうち 20% は親会社の持分ではありません。よって、その 20% の金額を利益剰余金から減額し、非支配株主持分に振り替えます。

\* X3 年 3 月 31 日における利益剰余金：113,000 千円 - 28,120 千円 = 84,880 千円

X0 年 4 月 1 日から X3 年 3 月 31 日における利益剰余金増加額：

84,880 千円 - 30,000 千円 = 54,880 千円

子会社利益の配分額：54,880 千円×20%＝10,976 千円

X0. 3. 31	X3. 3. 31	X4. 3. 31
	利益 54,880	利益 28,120
利益剰余金の推移(千円) 30,000	84,880	113,000

## 2. S 1 社に対する当年度(X4 年 3 月 31 日)の仕訳

### (1) のれんの償却

( の れ ん 償 却 )	1,300	( の れ ん )	1,300
---------------	-------	-----------	-------

\* 26,000 千円÷20 年＝1,300 千円

### (2) 子会社利益の配分

( 非支配株主に帰属する当期純利益 )	5,624 *	( 非 支 配 株 主 持 分 )	5,624
---------------------	---------	-------------------	-------

連結第 1～3 年度と同様ですが、当期の「非支配株主に帰属する当期純利益」は利益の控除項目として連結 P/L に記載されます。

\* 28,120 千円×20%＝5,624 千円

### (3) 債権債務及び内部取引高の相殺

( 買 掛 金 )	160,000	( 売 掛 金 )	160,000
( 借 入 金 )	100,000	( 貸 付 金 )	100,000
( 未 払 金 )	8,000	( 未 収 入 金 )	8,000
( 売 上 高 )	660,000	( 売 上 原 価 )	660,000
( 受 取 利 息 )	1,500	( 支 払 利 息 )	1,500

連結会社相互間の取引は、個別企業の観点からは独立の取引であっても、企業集団の観点からは内部取引にすぎないため相殺消去します。

### (4) 商品売買に係る未実現利益の消去 (ダウン・ストリーム)

#### ① 期首商品

( 利 益 剰 余 金 )	36,000 *	( 売 上 原 価 )	36,000
---------------	----------	-------------	--------

前期末商品の未実現利益の消去と、当期における実現仕訳を合算したものです。

\* 120,000 千円×30%＝36,000 千円

#### ② 期末商品

( 売 上 原 価 )	45,000 *	( 商 品 )	45,000
-------------	----------	---------	--------

子会社の期末商品のうち親会社から仕入れたものには、未実現の利益が含まれています。よって、この未実現利益を商品勘定から減額し、連結上の売上原価を増加させることで利益を消去します。

\* 150,000 千円×30%＝45,000 千円

## 3. S 2 社に対する当年度(X4 年 3 月 31 日)の仕訳

### (1) 支配獲得時(X3 年 4 月 1 日)の仕訳

( 資 本 金 )	100,000	( 子 会 社 株 式 )	100,000
-----------	---------	---------------	---------

### (2) 支払利息の追加計上

( 支 払 利 息 )	500	( 未 払 費 用 )	500
-------------	-----	-------------	-----

## (3) 債権債務及び内部取引高の相殺

## ① P 社と S 2 社に係る相殺消去

( 役 務 収 益 )	96,000	( 売 上 原 価 )	96,000
( 未 払 費 用 )	500	( 未 収 収 益 )	500
( 買 掛 金 )	25,000	( 売 掛 金 )	25,000
( 借 入 金 )	40,000	( 貸 付 金 )	40,000
( 賃貸資産受取家賃 )	2,700	( 販売費及び一般管理費 )	2,700
( 受 取 利 息 )	1,700	( 支 払 利 息 )	1,700

## ② S 1 社と S 2 社に係る相殺消去

( 役 務 収 益 )	84,000	( 売 上 原 価 )	84,000
( 買 掛 金 )	12,000	( 売 掛 金 )	12,000

## (4) 賃貸資産に係る減価償却費の修正

( 販売費及び一般管理費 )	2,250	( 賃貸資産減価償却費 )	2,250
----------------	-------	---------------	-------

賃貸資産受取家賃が連結損益計算書においては表示されなくなるので、費用収益対応の観点から賃貸資産減価償却費を販売費及び一般管理費に振り替えます。

## (5) 土地の売却に係る未実現利益の消去 (ダウン・ストリーム)

( 土 地 売 却 益 )	7,700 *	( 土 地 )	7,700
---------------	---------	---------	-------

\* 134,000 千円－126,300 千円＝7,700 千円

## 第 4 問

問 1 修繕部費の予定配賦率： $\frac{5,600,000\text{円}}{600\text{時間}+800\text{時間}}=4,000\text{円/時間}$

修繕部費の予定配賦額

第一製造部への配賦額：4,000 円/時間×600 時間＝2,400,000 円

第二製造部への配賦額：4,000 円/時間×800 時間＝3,200,000 円

製造部門費年間予算額

第一製造部：45,600,000 円＋2,400,000 円＝48,000,000 円

第二製造部：36,800,000 円＋3,200,000 円＝40,000,000 円

問 2 製造部門費の予定配賦率

第一製造部： $\frac{48,000,000\text{円}}{8,000\text{時間}}=6,000\text{円/時間}$

第二製造部： $\frac{40,000,000\text{円}}{20,000\text{時間}}=2,000\text{円/時間}$

問 3 製造部門費の予定配賦額

第一製造部：6,000 円/時間×690 時間＝4,140,000 円

第二製造部：2,000 円/時間×1,720 時間＝3,440,000 円

問 4 修繕部費の配賦差異

当月予定配賦額：4,000 円/時間×(52 時間＋72 時間)＝496,000 円

当月実際発生額：資料 6. より 502,200 円

当月差異発生額：496,000 円－502,200 円＝△6,200 円(借方差異)



## 問 5 第一製造部の配賦差異

当月予定配賦額：6,000 円/時間×690 時間＝4,140,000 円

当月実際発生額：補助部門費予定配賦後の第一製造部の金額です。

3,957,000 円＋4,000 円/時間×52 時間＝4,165,000 円

当月差異発生額：4,140,000 円－4,165,000 円＝△25,000 円(借方差異)

## 第 5 問

## 問 2 当月の月末仕掛品の計算

直接材料費			
月初 1,000 枚	完成(8,000 枚)		
700,000 円	→ 1,000 枚	6,300,000 円	
投入 10,000 枚	7,000 枚	(差額)	
7,200,000 円	仕損 1,000 枚	—	
	月末 2,000 枚	1,600,000 円	

月末仕掛品原価

$$7,200,000 \text{ 円} \times \frac{2,000 \text{ 枚}}{7,000 \text{ 枚} + 2,000 \text{ 枚}} \\ = 1,600,000 \text{ 円}$$

加工費 (数量は完成品換算量)			
月初 500 枚	完成(8,000 枚)		
900,000 円	→ 500 枚	12,900,000 円	
投入	7,500 枚	(差額)	
13,600,000 円	仕損 ? 枚	—	
	月末 1,000 枚	1,600,000 円	

月末仕掛品原価

$$13,600,000 \text{ 円} \times \frac{1,000 \text{ 枚}}{7,500 \text{ 枚} + 1,000 \text{ 枚}} \\ = 1,600,000 \text{ 円}$$

当月の月末仕掛品原価：1,600,000 円＋1,600,000 円＝3,200,000 円

問 3 当月の完成品総合原価：6,300,000 円＋12,900,000 円＝19,200,000 円

## 問 4・5 完成品総合原価の按分

等級製品 X：19,200,000 円×90%＝17,280,000 円

等級製品 Y：19,200,000 円×10%＝1,920,000 円

完成品単位原価

等級製品 X：17,280,000 円÷6,000 枚＝2,880 円/枚

等級製品 Y：1,920,000 円÷2,000 枚＝960 円/枚